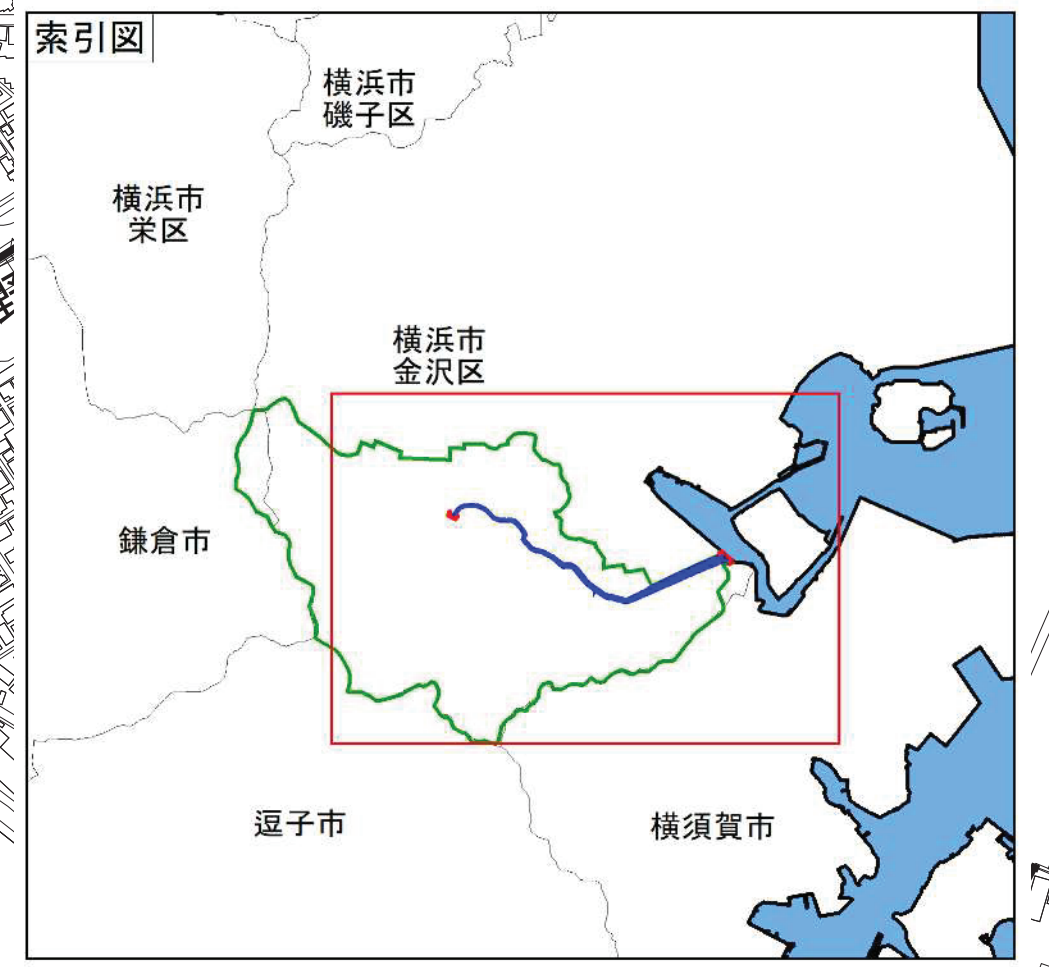
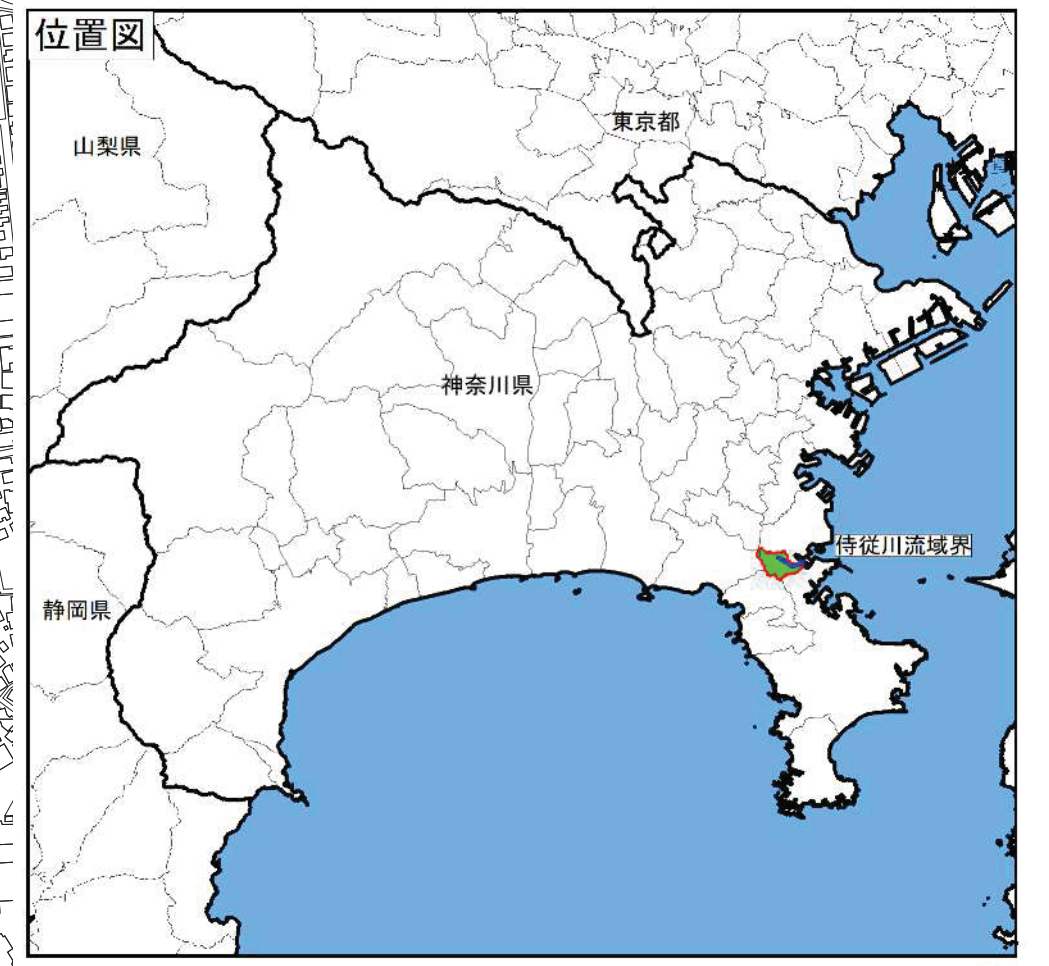
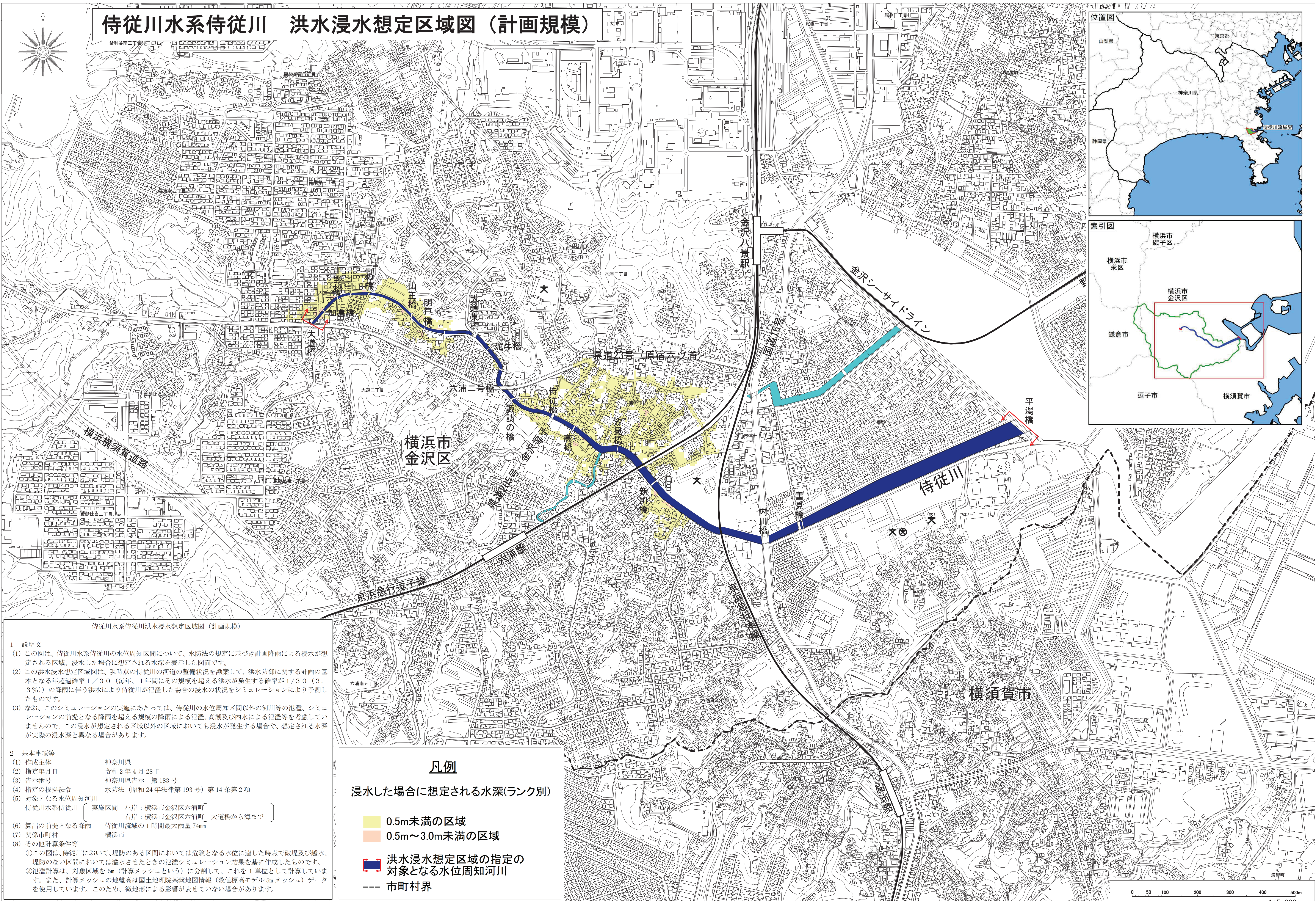


侍従川水系侍従川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



侍従川水系侍従川洪水浸水想定区域図（計画規模）

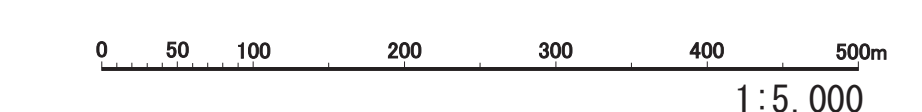
1 説明文
 (1) この図は、侍従川水系侍従川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨による浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2) この洪水浸水想定区域図は、現時点の侍従川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3.3%））の降雨に伴う洪水により侍従川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、侍従川の水位周知区間以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1) 作成主体 神奈川県
 (2) 指定年月日 令和2年4月28日
 (3) 告示番号 神奈川県告示 第183号
 (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
 (5) 対象となる水位周知河川 侍従川水系侍従川
 実施区間 左岸：横浜市金沢区六浦町 右岸：横浜市金沢区六浦町 大浦橋から海まで
 (6) 算出の前提となる降雨 侍従川流域の1時間最大雨量74mm
 (7) 関係市町村 横浜市
 (8) その他計算条件等
 ①この図は、侍従川において、堤防のある区間においては危険となる水位に達した時点で破堤及び越水、堤防のない区間においては溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。
 ②氾濫計算は、対象区域を5m（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報（数値標高モデル5mメッシュ）データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 市町村界



※A1出力時は1:5,000、A3出力時は1:10,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 令元情使、第555号）